学習活動を設定する際に活用するツール

「場・人・ものマトリックス」について

知的障害のある児童生徒の生活の変化において,共通して積み重なり広がっていく 「場・人・もの」とキャリア発達段階を組み合わせて示したものが、「場・人・ものマトリック ス」です。「場・人・ものマトリックス」を活用することで、キャリア発達段階と「場・人・もの」 の積み重ねや広がりを考慮して、生活を捉えた学習活動につなげることができます。

「学んだことを生かしている姿」を考えるときや、場面設定、教材・教具を工夫するとき に参考にすることができます。

児童生徒の生活を捉え,学部(学校)の段階に応じた学習活動を設定することが大切で す。



ックス」は、知的関連のある児童生徒の生活において、共選する「場-人・もの」の積み重ねや広がりをキャリア発達段階と組み合 核約な部時は、李潔ド・中リア発達段階と考慮して修訂しています。児童主徒の実施、学校や地域の実情で取り入れられない ものを取り入れる場合もあります。キャリア発達段階と「場-人・もの」を考して、児童生食の主活を発え、李製ド学校)に対し

指示書、作業日誌、作業報、約品書、清求書、作業製品 スケジュール帳、連携に関するパンフレット など

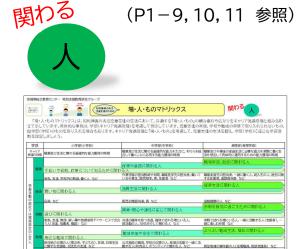
具味・関心や適性に応じて関わるもの

趣味や依洁動で使う物 SNS、雑誌 など

経済一質し物に関わるもの

玩具、ボール、絵本、図鑑、ぬいぐるみ、 質い事で使う物(スポーツ用品 楽器) など

公共施設にある他、「Cカード、公共他、地域の物、祭りの道 障害者手帳、幹約表や経路研索の案内等 見、防災問品、ハザードマップ)など シュンソフトフェア、ハルブカード など 接悪に似てる他や他門する他(特計、スマートフォン、 実施を発生、産モンシン。食材 準測に及れた態 など ま、TFOに合わせた態、使者関係に関するもの など 使者引 「原理経済のある必要主任のドキ・リアララニング ISOA JANA VIEW TO A SECTION AND A SECTION AND



庭生活を営む上で関わる人

学習活動を設定するときに、「場」・ 「人」は場面設定に、「もの」は教材・教 具の工夫に生かすことができます。

指導内容は,各教科の目標及び内 容を参照して,児童生徒の発達段階 に応じたものを選択します。